平成26年度授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	スポーツ実践・応用Ⅱ(Sports Practice ApplicationsⅡ)・レスリング			**授業コード**	A001254
担当教員名	鍋田　耕作			**科目ナンバリングコード**	A20704
配当学年	2	**開講期**	後期		
必修・選択区分	選択	**単位数**	2		
履修上の注意または履修条件	指定クラブ学生のみ受講可				
受講心得	能動的に取り組むこと。出席と取り組みの内容を重視します。				
教科書	なし				
参考文献及び指定図書	必要に応じて紹介します。				
関連科目	健康の科学、スポーツサイエンス、生涯スポーツ指導、スポーツ実践・基礎Ⅰ・Ⅱ、 スポーツ実践・応用Ⅰ・Ⅱ、スポーツリテラシーⅠ～Ⅵ、スポーツリテラシーⅦA・B、ⅧA・B				

授業の目的	前・後期を通して、各種目の目的に合ったスポーツトレーニングや練習方法を実践・応用することを目的とします。
授業の概要	実践的なトレーニング方法を学び、スポーツ実践能力を向上させます。

○授業計画

学修内容	学修課題(予習・復習)
第 1 週 ： 発展トレーニング1 発展的なトレーニングについてコーチングし演習します。	**個別課題** 自主トレーニング
第 2 週 ： 発展トレーニング2 発展的なトレーニングについてコーチングし演習します。	**個別課題** 自主トレーニング
第 3 週 ： 発展トレーニング3 発展的なトレーニングについてコーチングし演習します。	**個別課題** 自主トレーニング
第 4 週 ： 発展トレーニング4 発展的なトレーニングについてコーチングし演習します。	**個別課題** 自主トレーニング
第 5 週 ： 発展トレーニング5 発展的なトレーニングについてコーチングし演習します。	**個別課題** 自主トレーニング
第 6 週 ： 発展トレーニング6 発展的なトレーニングについてコーチングし演習します。	**個別課題** 自主トレーニング
第 7 週 ： 発展トレーニング7 発展的なトレーニングについてコーチングし演習します。	**個別課題** 自主トレーニング
第 8 週 ： 発展トレーニング8 発展的なトレーニングについてコーチングし演習します。	**個別課題** 自主トレーニング
第 9 週 ： 練習試合1 試合形式で実践的に演習します。	**個別課題** 自主トレーニング
第 10 週 ： 練習試合2 試合形式で実践的に演習します。	**個別課題** 自主トレーニング
第 11 週 ： 練習試合3 試合形式で実践的に演習します。	**個別課題** 自主トレーニング
第 12 週 ： 大会への出場準備 大会への出場準備をします。	**個別課題** 自主トレーニング
第 13 週 ： 大会への出場1 大会に出場します。	**個別課題** 自主トレーニング
第 14 週 ： 大会への出場2 大会に出場します。	**個別課題** 自主トレーニング
第 15 週 ： 自己点検授業 これまでの取り組みについて振り返り、成果と問題点を明らかにして次の取り組みに繋げます。	**個別課題** 自主トレーニング
第 16 週 ：	

授業の運営方法	(1)授業の形式	「演習等形式」
	(2)複数担当の場合の方式	
	(3)アクティブ・ラーニング	「アクティブ・ラーニング科目」
備考	試合日程等の都合により若干の予定変更をすることがあります。	

○単位を修得するために達成すべき到達目標	
【関心・意欲・態度】	スポーツを通じて自らの人間力を向上させるとともに、スポーツへの強い情熱をもっていること。
【知識・理解】	スポーツに強い関心と興味をもち、スポーツに関する専門知識を身に付けていること。
【技能・表現・コミュニケーション】	スポーツにおける専門的課題をコミュニケーションによって解決するために必要となる技能と表現力をもっていること。
【思考・判断・創造】	スポーツに関する理解力と幅広い視野と多角的かつ柔軟な思考力をもっていること。

○成績評価基準(合計100点)			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等 (テスト)	レポート・作品等 (提出物)	発表・その他 (無形成果)	
【関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。			25点	
【知識・理解】 ※「専門能力〈知識の獲得〉」を含む。			25点	
【技能・表現・コミュニケーション】 ※「専門能力〈知識の活用〉」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。			25点	
【思考・判断・創造】 ※「考え抜く力」を含む。			25点	

(「人間力」について)

※以上の観点に、「こころの力」(自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力)と「職業能力」(職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力)を加えた能力が「人間力」です。

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安	
成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安
レポート・作品等 (提出物)	
発表・その他 (無形成果)	取り組みの内容により総合的に評価します。達成水準の目安は以下の通りです。 [Sレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標を満たしている。 [Aレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標をほぼ満たしている。 [Bレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標をかなり満たしている。 [Cレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標を一部分満たしている。